

きょうの紙面



伊勢佐木町150年 未来見据え取り組み

伊勢佐木町（横浜市中区）が発祥から150年を迎える。現在は街路の再整備や記録制作に着手。50年、100年先の未来につなげる取り組みを進めている。

2代目は「ガンモ」 13



3県知事が政府に直談判 2
連載 前立腺がんだった父 16
平塚駅近くに手話カフェ 14
プーチン大統領5期目就任 3

総合 2・3 TV解説・小説 11
スポーツ 4・5 地域 12~14
読者 6 社会 15~17
経済・商況 8~10

論説・特報

能登半島で大学教授、「利他」を实践



宗教の研究から「利他」を实践する大学教授は能登半島へ通い詰めている。大切なのは地域の人々の命が守られること。

神奈川新聞

THE KANAGAWA

2024年[令和6年]

5月8日[水]

仏滅

©神奈川新聞社 29331号

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23

生前対策から相続税申告まで相続の専門家集団としてサポートします。

全14拠点(駅近)で安心の無料相談!

相談 25,000円以上! 相続税申告 8,000円保証!



ランドマーク税理士法人グループ

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-48-7271

きょうの天気

北の風やや強く、くもり後一時雨
最小湿度45%、海上最大風速13m=横浜

	6時	12	18	24	最高気温	最低気温	降水確率	洗濯指数 [横浜]
横浜					25	19	50	👕 [よく乾く]
横須賀					25	17	50	
鎌倉					24	17	50	👤 熱中症予防情報 [横浜]
相模原					23	16	50	
厚木					24	17	50	🚶 [注意]
小田原					26	15	50	
東京					24	18	60	

週間予報 下段大字: 最高気温 / 細字: 最低気温

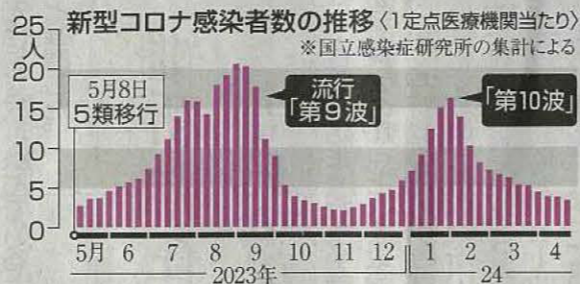
きょう あす 10(金) 11(土) 12(日) 13(月) 14(火)

5類移行きょう1年

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、8日で1年となった。日常生活は平時に戻りつつあるが、依然として流行の波を繰り返している。厚生労働省が4月に発表した最新の人口動態統計(概数)によると、昨年5~11月に計1万6043人が新型コロナウイルスで死亡。専門家は「命を落とす人がいることを改めて理解して」と訴える。政府は法改正や新組織発足を進め、次の感染症危機に備える。

関連記事15面に

昨年夏から秋にかけて流行「第9波」となり、沖縄県では医療が逼迫し、救急搬送を受け入れられない事態も生じた。冬には第10波も。今年4月以降は、治療薬や入院費の負担が増え、医療機関への受診控えも危惧される。マスク着用といった基本的な感染対策は今後も状況に応じて求められる。国立病院機構三重病院の谷口清州院長(小児感染症学)は「国民が適切な感染対策を取るためにも、政府は重症



化率や入院後の死亡率といった感染の実態が分かる情報をこまめに知らせるべきだ」と指摘する。同じ5類の季節性インフルエンザは、新

ルエンザは、新感染対策の影響がない2019年死者数が35万の感染症による型コロナが圧倒的状況となっていて、高齢者や基礎疾患を有する人は重症化リスクが高くなる。ワクチン接種は高年齢者から定期接種にした定期接種から始まる。政府は病床確保に感染症法を平時のうちに整備し、治療機関が協定する時に病床5万とすることを目指すことを自治体に対しては自給体制を確保を盛

医療、介護支援へ思

ない。これまでの被災地支援で、そのことを実感して

藤沢市内で介護施設を経営している菅原健介(44)は、家族と京都・祇園で穏やかな正月を迎えていた。日が暮れる前、ドスンと揺れた後に、大きな横揺れが続いた。「これは大きいぞ」。テレビをつけると震源は能登半島で、最大震度

【1】



超高齢化の街で

能登半島地震

「明日から行きたい。どうしても行きたいんだ」災害時の急性期にこそ、医療、介護の支援は欠かせ

急性期

